

みんなでやらいや！

～まちづくり活動報告～(第26回)

まちづくり御来屋地区会議

「サロン」で交流！

2月9日(日)、御来屋漁村センターでまちづくり御来屋地区会議が、地域の交流を目的に「御来屋サロン」を行いました。11月の『壱さんの講演会』で好評だった昔の写真のスライドに、写真をさらに追加して今回も上映しました。

簡単な解説をしながら映していたところ、来場者から「この言われはな

あ：」と飛び入りで解説してくださいる場面もあり、上映会はさらに盛り上がりました。また、にぎやかだった頃の御来屋農具市が映し出されると「農



▲サロンでおもてなし

具市の復活はできないだろうか」などと話をされていました。

サロンの合間には、御来屋で和菓子を作っている「富永屋」さんの羊羹をお茶菓子に出しました。「どこの羊羹か分かりますか」の問いに、「一口食べた瞬間にわかった！」の声がかえってきました。

当日は、50人を超える方が来場してください、スタッフやボランティアも対応に大忙しでした。来場者からは「また、やってごしないよ」とうれしい言葉をかけていただきました。

御来屋地区会議の定任部会は、今回の内容や反省などをふまえ、今後のサロンを検討したいと考えています。

御来屋の昔の写真

ありませんか？

*昭和30年代頃までの御来屋の風景や行事の写真をお持ちの方がいらっしゃら、お知らせください。

◆連絡・問い合わせ先

企画情報課 未来づくり戦略室
☎0859・54・5202

地域住民が気軽に集える交流の場が1周年 「共に生きる なごみの里」

昨年、「種原自治会女性会」「交流の場大山みらい塾」「押平女性会」がそれぞれ中心となり、町内3箇所(種原集会所・坊領地内の空き家・押平中央集会所)で『交流の場』が開設されました。

各地区で継続して取り組みが進められるなか、押平女性会が運営する「共に生きる なごみの里」(開設場所：押平中央集会所)で、1周年の催しが1月16日(木)に開かれました。

この日は、押平女性会の皆さんが、ちらし寿司などを準備され、地域の方々約20人に振るまっていました。また、1周年特別企画として、6人のボランティアが加わり、皆で歌を歌ったり、三線の音色に耳を傾けたり、心あたたまる和やかな時間を過ごしました。

参加された皆さんからは「木曜の開放日をいつも楽しみにしています。今日も会話がはずん



▲みんなで1周年を祝いました

で楽しいです」という声を聞くことができました。少しずつですが、協力者も増え、地域の皆さんの手で地域を支える形ができつつあります。

今後も、食事以外にも健康教室として、減塩食の講習会を企画するなど、地域のための取り組みが進められます。

「共に生きる なごみの里」は、主に木曜日、11時から14時ごろまで、押平集会所で開かれています。お近くの皆さん、ぜひご利用ください。